



## 兵庫教育大学の 第3期中期目標期間の 「取組構想」

平成28(2016)年度から、国立大学法人の第3期中期目標期間の6年間が始まります。第2期において、兵庫教育大学は「ミッションの再定義」などを通じて、強みや特色を生かした改革を積極的に進めてきたところです。文科省は、第3期においてさらに改革を確実に進めるべく、各大学に「取組構想」の作成・提出を求めてきました。初めてのことです。

取組構想ではまず、国立大学経営の原資である運営費交付金に三つの重点支援の枠組みが設けられ、各大学はその中から一つを選択します。3枠組みとは、①地域貢献とともに特定分野で世界・全国的な教育研究を推進する大学、②地域貢献よりも特定分野で世界・全国的な教育研究を推進する大学、③世界的に卓越した教育研究を全学的に推進する大学です。

その上で、選択した重点支援の枠組みに応じたビジョン、ビジョンの実現に向けた具体的改革方針である戦略、戦略の実行に必要な具体的な取組、および取組の実施スケジュールを作成します。さらに、各戦略について評価指標を文科省提示の指標から選択して、また独自に設定します。

各大学提出の取組構想がそのまま採用されるわけではありません。文科省が有識者の意見を聞いて戦略や取組を選定し、選定結果に応じて重点支援分の運営費交付金を傾斜配分するとされています。

本学は、重点支援の枠組みは①を選択しました。本学の元来のビジョンが、「教師教育のトップランナーとして、教師教育の実践と研究における全国拠点並びに地域拠点となる」であることがその理由です。取組構想のビジョンには、この元来ビジョンに加えて、「教員養成の高度化に取り組み、『卓越教職大学院』となる」と記述しました。

戦略は4点にまとめ、それぞれについて複数の評価指標と取組(全部で10)を策定しました。本学の目指す姿の特色をもっともよく表している戦略の①と②を紹介します。

戦略①は「現職教員再教育型大学院(スーパースクールリーダー養成)の拠点形成」です。本学はミッションの再定義で、大学院における現職教員の再教育拠点と位置づけられました。第3期において、さらにその役割を高めるものです。

具体的には、市町村教育長や本号で紹介の「特別支援教育地域リーダー」などのスーパーリーダーの育成プログラムの開発と実施に新たに取り組めます。また、連合大学院博士課程の加盟大学を増やし、教職大学院等で指導できる大学教員の養成機能を拡充します。各プログラムの実施時期等を評価指標としました。

戦略②は「教職大学院を核とした教員養成高度化の推進」です。本学は最大規模の教職大学院を既有用意していますが、さらに教職大学院を拡充することで教員養成高度化の機能を強化するものです。

そのために、教科教育のカリキュラムの実践性を高め、修士課程教科教育分野を教職大学院に移行します。また、「教員養成高度化実践センター」を設置して、国公私立大学と連携した学部と大学院の5年一貫教員養成システムの開発に取り組めます。評価指標は教職大学院修了者の教員就職率100%、修士課程の教職大学院への移行スケジュールなどです。

かじさてつや  
学長 加治佐哲也